

小金沢堤(上)ハザードマップ

～自分の身は自分で守る～

(ハザードマップについて)

想定を上回る気象条件下では浸水想定区域が拡大する可能性があります。

必ずしもこのハザードマップどおりになるとは限りません。

(避難の目安)

◎強い地震や大雨により堤体の破壊の恐れがある場合、または、町から避難指示等が発令された場合

※ため池が決壊した場合には、むやみに外に出すに、家屋の2階等の高い場所に避難してください。

(日頃からの管理の徹底)

老朽化や維持管理の不備が、突発的な事故の引き金となります。日頃から適正な管理に努めましょう。

また、[地域で行うため池の草刈りなどの維持管理には積極的に参加しましょう。](#)

浸水深の目安

浸水深	浸水の目安
0.5 m 未満	大人の膝までかかる程度
0.5 m ~ 1.0 m	大人の腰までかかる程度
1.0 m ~ 2.0 m	1階の軒下まで浸水する程度
2.0 m ~ 3.0 m	2階の床下まで浸水する程度
3.0 m ~ 5.0 m	2階の軒下まで浸水する程度

小金沢堤(上)

貯水量 V=2.3 千m³
地盤高 121.7m

0

200

400 m

小金沢堤(下)

貯水量 V=0.7 千m³
地盤高 104.1m



7区公民館

地盤高 33.2m

特別養護老人ホームふくしの里慶泉荘 (一時避難場所)

地盤高 49.8m



黄金荘(一時避難場所)

地盤高 59.8m

凡例

	過去に被災履歴あり	過去の経験からこの付近はため池の決壊に限らず水害が起きているエリアです。
○分～○分	洪水到達予想時間	ため池が決壊してから、洪水が到達する予想時間
	避難場所	付近の避難場所を日頃より確認しておきましょう。 避難場所へは浸水が想定される道路を避けて向かってください。
	ため池の下流に位置するため、早急な避難行動が必要な場所	

※

ため池の下流に位置するため、早急な避難行動が必要な場所

小金沢堤（上）ハザードマップ

～自分の身は自分で守る～

◆ため池ハザードマップ

近年、局地的な大雨や大規模な地震などにより、ため池の被害が各地で発生しています。東日本大震災の際には、福島県の農業用ダムが決壊し、死者・行方不明者8名、家屋全壊22戸等の甚大な被害をもたらしています。

このハザードマップは、ため池が決壊した場合に想定される浸水区域を予測し地図化しており、皆さんが安全に避難できるために必要な情報が記載されています。



決壊直後の藤沼湖



濁流が襲った集落

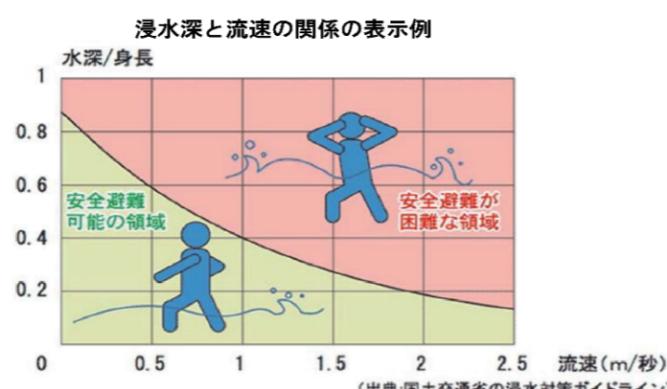
写真出展：農林水産省 Web サイト（http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/nousin/bukai/h25_1/pdf/data03_2_4_2.pdf）

◆ため池ハザードマップの見方

「ため池ハザードマップ」は、ため池の位置、浸水想定区域、避難場所などが記載されています。

- ・マップ上の着色区域が浸水想定区域を表しています。
- ・浸水深により色分けされており、下表のとおりとなります。
- ・洪水の到達時間は、区分け線で示しています。
- ・洪水の速さは、最大で約4m/秒です。浸水区域のほとんどで歩行が不可能又は困難な状況になります。

浸水深	浸水の目安	流速との関係
0.5m未満	大人の膝までつかる程度	流速が1.5m/秒を超えると避難不可能
0.5m～1.0m	大人の腰までつかる程度	流速が0.5m/秒を超えると避難不可能
1.0m～2.0m	1階の軒下まで浸水する程度	避難不可能
2.0m～3.0m	2階の床下まで浸水する程度	
3.0m～5.0m	2階の軒下まで浸水する程度	



◆ため池ハザードマップのシミュレーション条件

- 「ため池ハザードマップ」は以下の条件を基にシミュレーションしています。
- ため池が地震または大雨により決壊する。
 - ため池が満水の状態で、瞬時（一気）に決壊する。
 - ため池周辺に大雨が降り、河川の水位が上昇している。

②想定を上回る気象条件下では浸水想定区域が拡大する可能性がありますので、必ずしもこのハザードマップどおりになるとは限りません。

◆避難の目安

ため池が決壊することを事前に予測することは非常に困難です。いざという場合に備えて、日頃から準備をし、避難指示等が発表された場合には、速やかに避難してください。

（避難の目安）

◎強い地震や大雨により、堤体の破損の恐れがある場合、または、町から避難情報が発令された場合
(防災行政無線・緊急速報メールにより発信されます)

②避難行動に時間要する方は、気象情報や「避難準備・高齢者等避難開始」等を参考にして、早い段階での避難を心掛けてください。

②ため池が決壊した場合には、むやみに外に出すに、家屋の2階等の高い場所に避難してください。



◆日頃からの管理の徹底

老朽化や維持管理の不備が、突発的な事故の引き金となります。日頃から適正な管理に努めましょう。

- 堤体の草刈、洪水吐の清掃の徹底
- 営農に支障のない範囲でため池の低水位管理を徹底

地域で行うため池の草刈りなどの維持管理には積極的に参加しましょう。

平泉町建設水道課
0191-46-5569(直通)

ため池ハザードマップの作成は、ゴールではなく
地域住民の防災意識向上のスタートです